

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本理念をいつでも確認できる所に掲示してある。法人理念は毎日就業時前に読み合わせをしている。それにより、一人一人の職員が理念を把握し、より良いサービス提供に努めている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症流行等の為、地域の行事はほぼ実施できていない。また、以前交流のあった地域の幼稚園や学校との交流もできていない。日常的な散歩等を通して、馴染みの関係は維持していきたいと思っている。	地域の100歳体操や敬老会、いきいきサロン等全て行事関係を中断しているので、地域に住む高齢者も困っている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議では、運営状況の報告及び計画やご家族からの意見、地域住民の方との情報交換、市職員の方からの情報提供や質疑等を行っている。ご家族、地域住民、市職員等からの意見や要望、アドバイスは貴重に思い改善に活かしている。	消火訓練を地域の方と一緒に 行なったり、泰山木の行事に参加していただき理解を得ている		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症流行等のため、あまり連携とれていない。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人として人権尊重・拘束廃止・虐待防止に関する勉強会を全職員対象で行っている。身体だけでなく、言葉による拘束もしないように職員が話し合い拘束防止に努めている。夜間や早朝以外は玄関の施錠はしていない。人権尊重委員会では最低2ヵ月に1回はケース検討をし、人権尊重を常に見直している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関の施錠に関しては、自由に独りで歩きたい方がいて「独り歩きSOSネットワーク」を何度か利用したために、警察から施錠しない事を注意された。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止に関する外部研修会に職員参加し、委員会にて伝達講習している。またかぶと会虐待防止指針を2022.4月に作成予定で、委員会指針の検討を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員さんたちの話しかけ方が皆丁寧に見える。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員対象の研修等は実施していない。成年後見人制度を利用しているご入居者が1F2F 共い らっしゃり、直接個々の後見人の方から学ぶことも多い。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	①. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の締結、解約又は改定等の際は、書面と口頭による説明を十分に行い、承諾のサインを必ずもらっている。契約後も質問等があれば随時説明を行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「ご意見箱」を常に玄関に配置している。また、年1回、サービス等に関するアンケートを取り、要望等に対応している。苦情等に関する事項については、苦情要望解決委員会があり法人全体で迅速に対処している。		①. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部評価前にアンケートを受けたが、意見や要望に対しては、きちんと返事が返り運営に取り入れてくれている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月1回の、1F2F 合同のミーティング時に、運営等についての意見交換を実施している。また上司と職員の年2回の面談時に職員の意見要望を聴きとる。年1回自己申告書にて、改善や要望等の意見を提案する機会がある。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている ④. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	育成のための「能力開発カード」(自己評価・上司評価)(年2回)や、「自己申告書」(年1回)等を参考に面談を行い、個々の目標等の話し合いで、育成のためのサポート体制をとっている		①. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	経験の長い介護職員さんが多く、職場環境は整っていると思われる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている ⑤. あまりできていない D. ほとんどできていない	能力開発カードや自己申告書により、自己分析した上で個々の職員の目標を定め、レベルの向上に努めている。また興味がある研修へ参加できるよう支援している。研修参加者の報告会も随時行っている。法人内の定期的な勉強会も実施している。		①. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症が落ち着くまでは交流は難しい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている ⑥. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内研修等で他事業所間とのグループワーク等での他事業所職員の意見により、当事業所の改善点や新しい取り組みのきっかけになっている。また外部研修(オンライン研修)にも積極的に参加し、他事業所との情報交換するよう努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている ⑦. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の方々の能力や可能性を見極め、入居者の方の意思を尊重した役割や責任を持っていただき、職員も一緒に生活を共有している。意思決定を入居者ができる様な関わり合いや自律支援に努めている。また、入居者間の関係性を考慮した繋がりを大切に育てる。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症流行のため家族や馴染みの方との面会があまりできなかった。帰宅希望の入居者はなるべく自宅に帰れるよう支援をしている。また、個別の外出を企画して、可能な限り希望の実現に取り組んでいる。	自由に独りで散歩されたい入居者の見守りを、地域の方たちも協力している。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の想いや発言を、ケースに記録したり、職員間の伝達で情報の共有に努める。毎月のケースカンファにて、入居者の変化等、情報共有できるように話し合う。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人及び家族の意向を大切に、担当者により介護計画の作成を行っている。アセスメントも職員一人ひとりが確認し、多面的な情報収集に努めている。毎月1回のミーティング時に各入居者の検討を行うようにしている。	ケアについてはしっかり家族の意見を聴いてもらっている。報告もできている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ以前は、グループホームの中に入り込んで生活の場面を見させてもらっていたが、今は会っても面会室での面会なので、生活の実態が把握できていない。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画作成と繋がるように、ケアプランの実施状況、心身状態、日頃の様子等を区分して記入する様にしている。各入居者に職員が担当制にしてアセスメントや介護計画に関わるようにし、プランの意識付けをしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、写真とお手紙を担当介護士からもらっており、現状を報告してくれている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者やその家族のニーズや取り巻く環境も多様化してきている。少しでも満足して頂く為の取り組みを事業所としてどうすべきか課題がある。また職員一人ひとりの質の向上もこれまで以上求められる。	病気の悪化や事故等、病院との連携がしっかりとれており安心である。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、それまで行っていた商店の利用幼稚園との交流等、生活範囲を拡げる活動は出来ていない。家族との良好な関係が継続できる為の支援に努めている。	泰山木がある地域の住民も入居しており、時々帰宅して馴染みの近隣者と交流したりしている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に重要事項説明書にて説明し、家族等の医療に関する意向の確認を行っている。信頼できる協力医療機関が近くにあり、その理事長Drが、月1回の往診や、状態変化時の電話相談にも応じてくれる。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	㉠. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は定期的に電話連絡し、医師・看護師と、入居者に関する情報提供や状態把握をしている。Hpソーシャルワーカーとも、入院中又は退院時は、十分情報交換を行い、円滑な入退院ができるように努めている。		㉠. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	笠岡第一病院の訪問診療や訪問看護、また何かあった場合の健康相談対応や救急対応等、とても安心できる。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている ㉠. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族とは入居時に終末期のあり方について意向を書面にて確認している。重度化した時は、どこでどう過ごして頂きたいか、急変もありえること等、状態に応じて家族とカンファレンスを実施している。協力医療機関とも支援の役割分担について話し合っ、連携している。		A. 十分にできている ㉠. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族がまた集まれるようになったら、ターミナルケアの勉強会を職員合同で行いたい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている ㉠. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時事故発生時のマニュアルはあり、対応や連絡の手順は整備されているが、実践研修は定期的を実施出来ていないので今後の課題である。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている ㉠. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災時の避難訓練及び、災害時(津波・地震等)の避難訓練は定期的実施している。。しかし特に夜勤帯については不安な点が多い。地域の振興会長とは消火訓練等合同で行っている。	火災時の近隣への通報は、家が立て込んでいて即時に必要な有効な通報の方法を話し合っておきたい。	㉠. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	連絡方法を次回推進会議にて決めておく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている ㉠. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「ご利用者の人権を守る為の約束」をご利用者の立場から作成し、人権尊重委員会を中心に全職員への意識付けに努めている。人権尊重に関しては日々の振り返りや1ヶ月毎に振り返りをするようにしているが入居者主体の支援が出来ていない事もある。		㉠. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	丁寧に話しかけていると思う。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている ㉠. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活の中心は入居者であることを常に意識し、あくまで業務優先ではなく、入居者の意向を十分尊重した生活支援を心掛けている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている ㉠. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の下ごしらえから、盛り付け配膳や片付けまで、なるべく入居者と一緒に行ってもらっている。献立は入居者と何が食べたいか相談をして決めている。コロナウィルス感染症が落ち着けば、また食材の買い出しにも一緒に行けるようにしたいと思う。		㉠. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特に聞けていないが、季節毎のメニューを楽しそうに食べている写真が送られてくる。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の状態に合わせた食事の形態で提供している。水分量は記録に残し管理をして、不足している場合には、ゼリーや果物等本人が好む物を提供して水分補給に努めている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔内を清潔に保つよう個々に合ったケアをしている。また訪問歯科を利用し、相談や早期治療を行っている。希望や必要に応じ、口腔ケアの定期訪問診療や指導を受けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入歯の治療もすぐ報告相談してくれ、対応できている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	尿意が不明な入居者も、定期的にトイレ誘導し、排泄パターンの把握に努め、自立に向けトイレでの排泄を促している。また一人ひとりに合ったパット類等検討して使用している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレに誘導してもらっているのはありがたいと思う。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当たり前の生活を意識して、夕方からの入浴を原則毎日行っているが、夜間の入浴体制は、急変等危険も予測でき困難な状況である。しかし本人の意思確認は必ず行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の心身状態に合わせ、居室へ休息の為誘導している。就寝前はトイレに誘導して、安心して眠れるように努めている。日中は昼夜逆転にならないように離床、日光浴、運動等を促している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬の準備・管理・支援に関するマニュアル、各入居者の薬の内容をまとめたファイルを作成して、周知徹底する様に努めている。内服により症状等の変化があれば、主治医等に報告相談を随時行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬については、Dr等と相談して、報告してくれている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴をもとに趣味等を把握し、個々に合ったサポートを行えるように努めている。(編み物・さなだ組み・音楽鑑賞・散歩・手芸等...)また日々の生活の中で役割を持って過ごせるように支援している。	だんだんできる事が少なくなってきたように思うが、なるべくできる事を維持し、誇りを持って生きて欲しい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気候が良い日は散歩やドライブに出掛けている。コロナウイルス感染症流行前は日常的に買い物に行っていたが、今は行けていない。コロナ収束したら、入居者の意向を十分に汲み取り、家族の協力も呼びかけながら、個々の外出の計画的にも積極的に取り組んで行きたい。	家族同伴の祭り参加や土曜夜市、花見、買い物など以前のようにいろいろ一緒に行けるようになりたい。		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ほとんどの入居者は、金銭管理が困難であるが、希望があれば本人管理して頂いている。大多数の入居者はお小遣いを職員側で管理している。個人の物を購入する時は、出来る限り一緒に買い物に出掛け自分で決めていただいている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特別な制限はなく、本人の要望等あれば随時電話できる。また、年賀状等は、職員が支援して、本人が書いて家族等に送れるようにしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の状態や体形に合った、テーブルや椅子を使用している。また安全な移動のための動線確保や、安心できる視界の提供に向けて器具類、装飾等の見直しを定期的に行う。トイレや各居室に、表札や表示を付け認識しやすいよう配慮している。季節ごとの掲示物等、入居の方と一緒に作成し、季節感のある和やかな雰囲気作りをしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	少し汚れやほこりが目立つので、もう少し清掃ができれば良いと思う。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の想いや意向を聴き取った場合は、ケース記録等に記録し、職員間で共有、また、検討が必要な場合は申し送りノートに記入し職員全員の意見をまとめて対応している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時ご家族等に生活歴シートを記入してもらい、これまでの人生をできるだけ把握するよう努力している。「利用情報書」を個々に作成しいつでも確認出来るようにしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日の状態を十分に観察しながら、職員間で情報交換し、適正な対応に努めている。観察内容はありのままの事実の言動を記録して、職員みんなが共有できるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族等に事前の聞き取りを行い、情報や要望等を収集し、少しでも不安の軽減に努める。入居後1週間は、情報収集を24時間行い、本人の希望や生活リズム、可能性の把握に努めている。ミーティング時、事業所全体で情報交換し、より適したケアについて提案し合う。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
44	本人が持つ力の活用	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の使用していた家具や食器等、馴染みの物を持参していただいている。中には遺骨や仏壇等の自室持ち込みもある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	持ち込ませてもらっている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的に希望聞き取り、散歩やドライブ等外出できるようにしている。コロナ禍では祭事等の参加はできていない。	催事自体がとりやめになっている。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活のあらゆる場面で、入居者が「できること・わかること」を見つけ出せるような関わりをして、「できること・わかること」を活かした生活が送れるよう支援している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会話や活動の場面で、入居者が主体となれるような関わり方を意識している。今までの人生を尊重しその経験知や行動に対して「ありがとうございます」と職員が感謝できることを心がける。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いつ会っても誇りを持って生きているように思う。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣の散歩で挨拶程度は日常できているが、「100歳体操」など定期的な交流の場はコロナ禍のため中断している。	入居者が散歩する姿は時々見かける。遠巻きに注意している。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「よりよい」かどうかはご本人の主観に委ねたい。事業所としては、常に入居者と共に生きて成長していきたいと思う。(判定不可)	家族としては、悔いの残る質問である。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GHに入居した事で、家族関係が良くなった方もいて、本人家族とも良かったと思う。